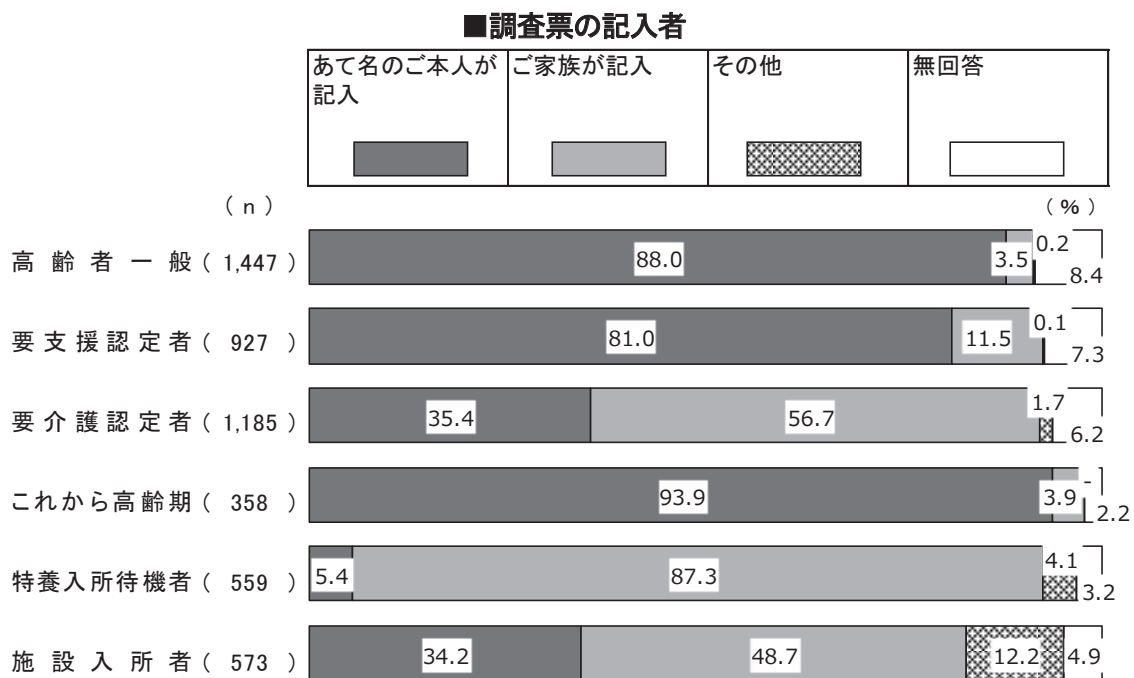


I-2. 調査結果の詳細

1 回答者の基本属性

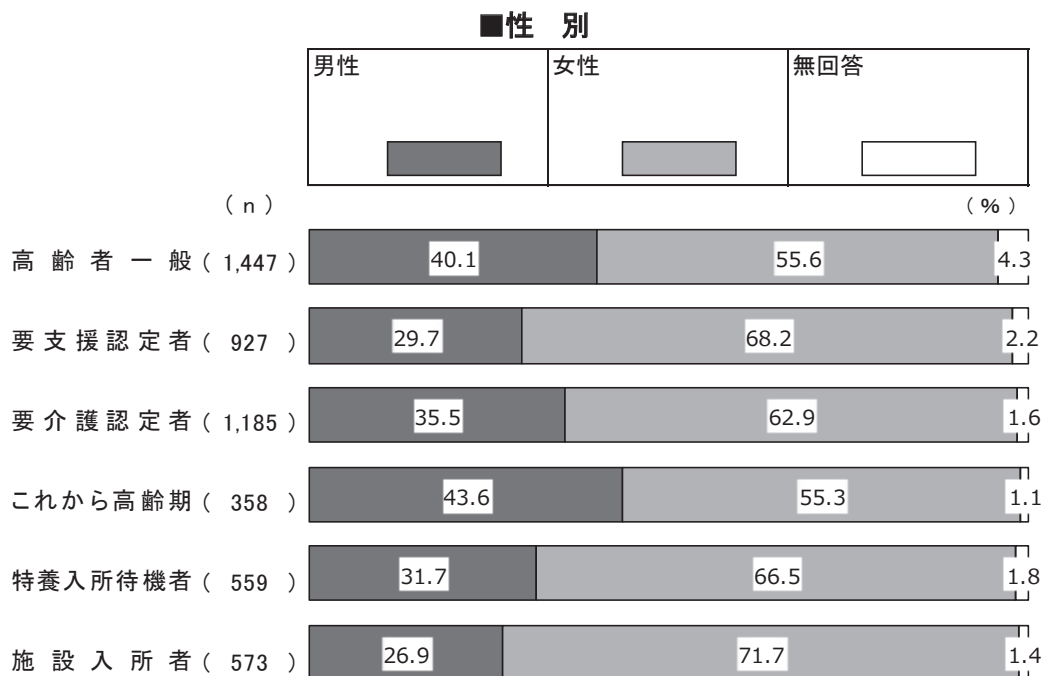
(1) 調査票の記入者

- 調査票の記入者は、高齢者一般、これから高齢期ともに「あて名のご本人が記入」が最も高く、高齢者一般が88.0%、これから高齢期が93.9%と9割前後となっている。
- 要支援認定者では、「あて名のご本人が記入」が最も高く81.0%、「ご家族が記入」は11.5%となっている。
- 要介護認定者では、「ご家族が記入」が最も高く56.7%、「あて名のご本人が記入」は35.4%となっている。
- 特養入所待機者では、「ご家族が記入」が最も高く87.3%、「あて名のご本人が記入」は5.4%となっている。
- 施設入所者では、「あて名のご本人が記入」が34.2%、「ご家族が記入」が48.7%となっている。



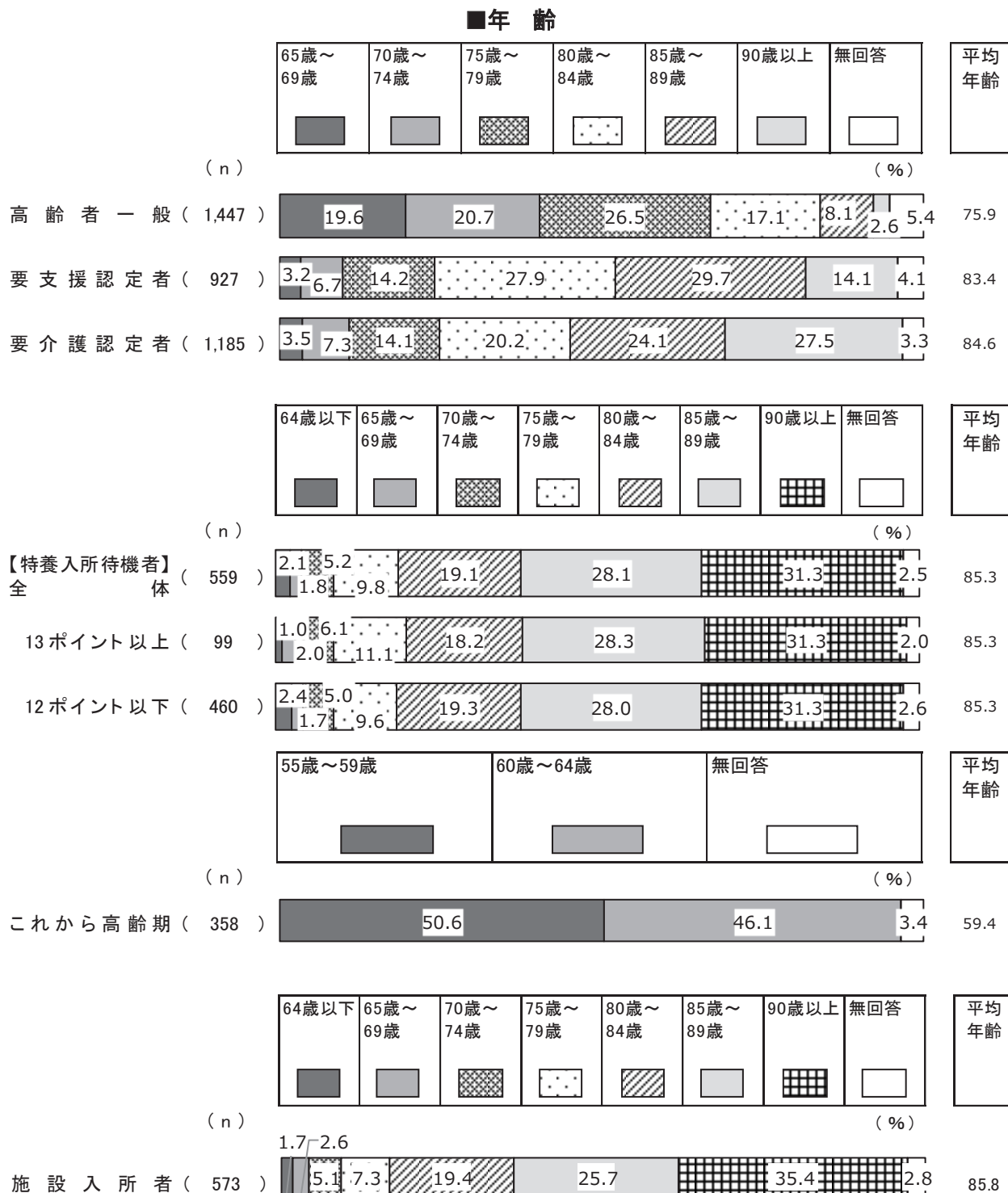
(2) 性別

- 高齢者一般では「男性」が40.1%、「女性」が55.6%、これから高齢期では「男性」が43.6%、「女性」が55.3%となっている。
- 要支援認定者、要介護認定者、特養入所待機者、施設入所者でも、「女性」の割合が高く、それぞれ6～7割超となっている。



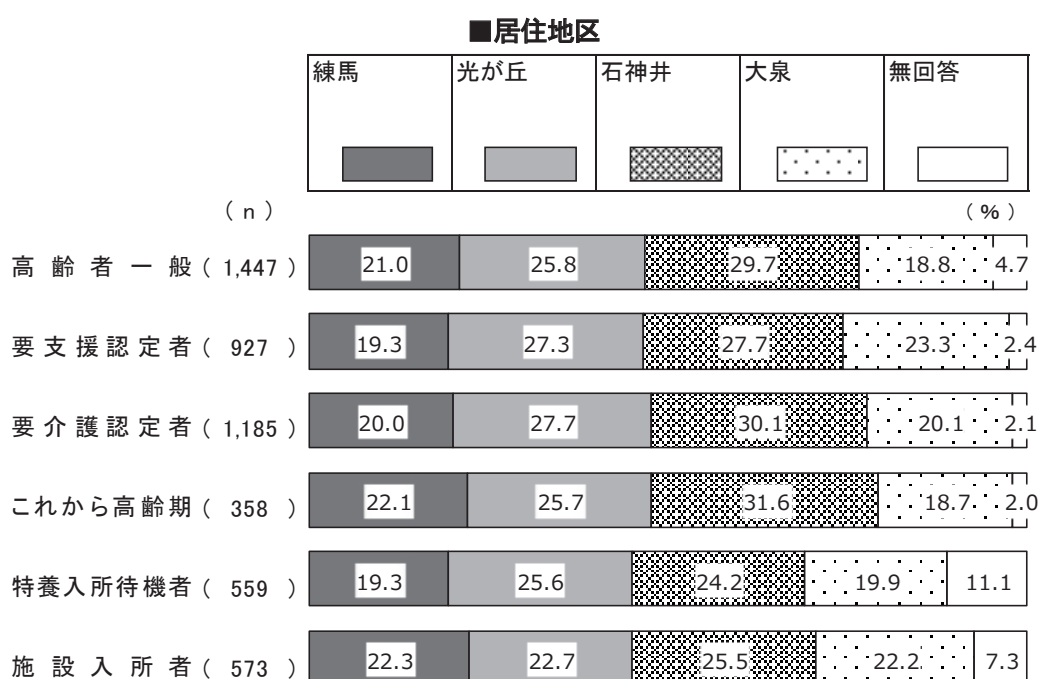
(3) 年齢

- 高齢者一般では前期高齢者が約4割、後期高齢者が5割半ばで、平均年齢は75.9歳となっている。
- 要支援認定者では前期高齢者が約1割、後期高齢者が8割半ばで、平均年齢は83.4歳となっている。
- 要介護認定者では前期高齢者が約1割、後期高齢者が8割半ばで、「90歳以上」が3割近くとなっている。平均年齢は84.6歳となっている。
- 特養入所待機者では後期高齢者が9割近くで平均年齢は85.3歳であった。
- これから高齢期では、「55歳～59歳」が50.6%、「60歳～64歳」が46.1%で、平均年齢は59.4歳となっている。
- 施設入所者では後期高齢者が9割近くで、平均年齢は85.8歳となっている。



(4) 居住地区

- 高齢者一般では、「練馬」が21.0%、「光が丘」が25.8%、「石神井」が29.7%、「大泉」が18.8%となっている。
- 要支援認定者では、「練馬」が19.3%、「光が丘」が27.3%、「石神井」が27.7%、「大泉」が23.3%となっている。
- 要介護認定者では、「練馬」が20.0%、「光が丘」が27.7%、「石神井」が30.1%、「大泉」が20.1%となっている。
- これから高齢期では、「練馬」が22.1%、「光が丘」が25.7%、「石神井」が31.6%、「大泉」が18.7%となっている。
- 特養入所待機者では、「練馬」が19.3%、「光が丘」が25.6%、「石神井」が24.2%、「大泉」が19.9%となっている。
- 施設入所者では、「練馬」が22.3%、「光が丘」が22.7%、「石神井」が25.5%、「大泉」が22.2%となっている。



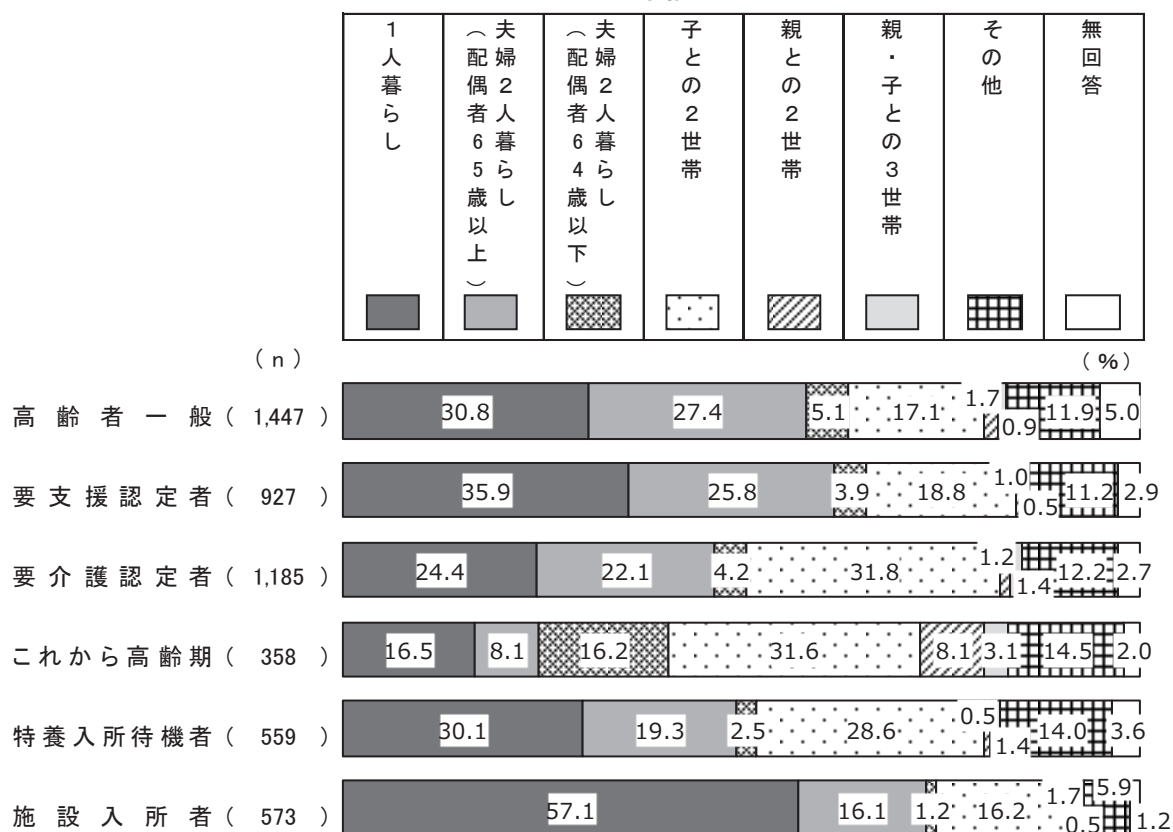
※ 施設入所者は、入所施設の所在地を表している

(5) 世帯の状況

① 世帯構成

- 高齢者一般では、「1人暮らし」が30.8%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が27.4%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が5.1%、「子との2世帯」が17.1%、「親との2世帯」が1.7%、「親・子との3世帯」が0.9%となっている。
- 要支援認定者では、「1人暮らし」が35.9%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が25.8%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が3.9%、「子との2世帯」が18.8%、「親との2世帯」が1.0%、「親・子との3世帯」が0.5%となっている。
- 要介護認定者では、「1人暮らし」が24.4%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が22.1%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が4.2%、「子との2世帯」が31.8%、「親との2世帯」が1.2%、「親・子との3世帯」が1.4%となっている。
- これから高齢期では、「1人暮らし」が16.5%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が8.1%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が16.2%、「子との2世帯」が31.6%、「親との2世帯」が8.1%、「親・子との3世帯」が3.1%となっている。
- 特養入所待機者では、「1人暮らし」が30.1%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が19.3%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が2.5%、「子との2世帯」が28.6%、「親との2世帯」が0.5%、「親・子との3世帯」が1.4%となっている。
- 施設入所者では、「1人暮らし」が57.1%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が16.1%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が1.2%、「子との2世帯」が16.2%、「親との2世帯」が1.7%、「親・子との3世帯」が0.5%となっている。

■世帯構成

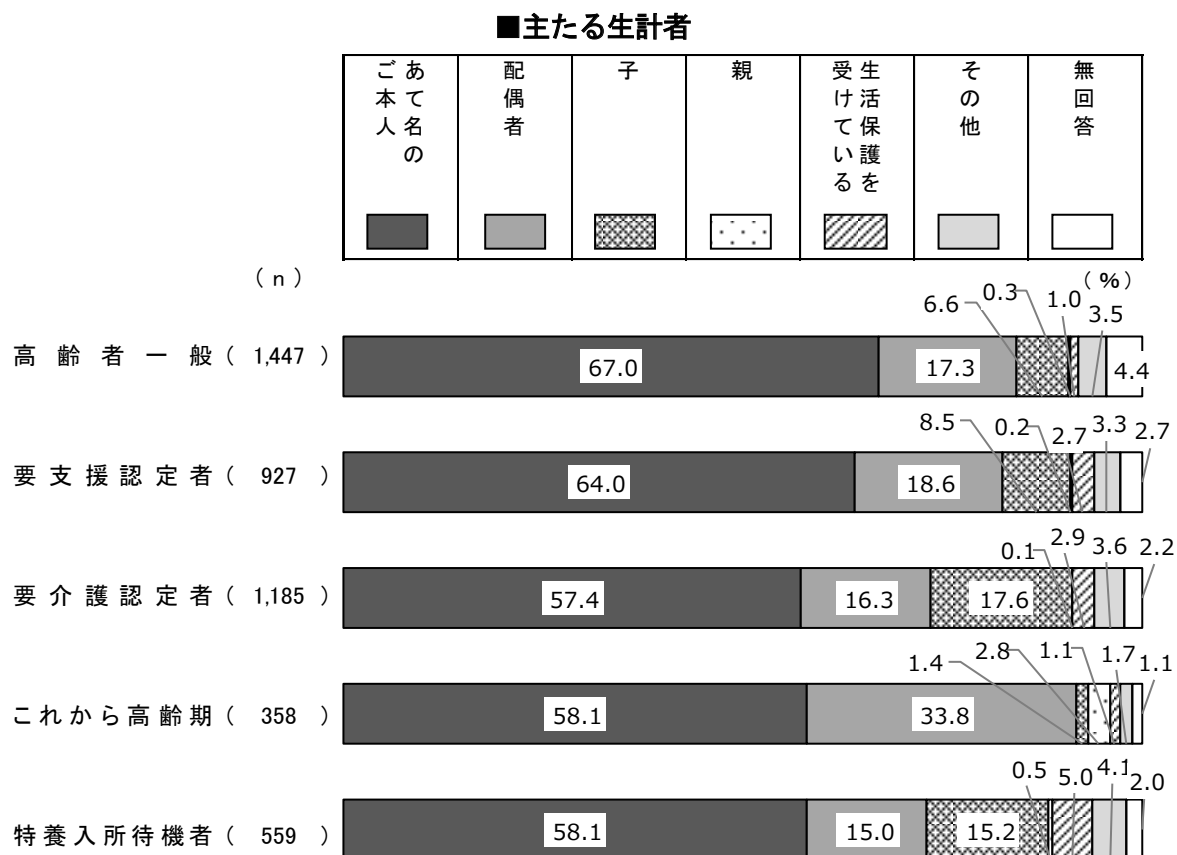


※ 施設入所者は、施設への入所前の世帯構成を表している

② 主たる生計者

○主たる生計者は、いずれの調査でも「あて名のご本人」が最も高く、6割近くから7割近くとなっている。

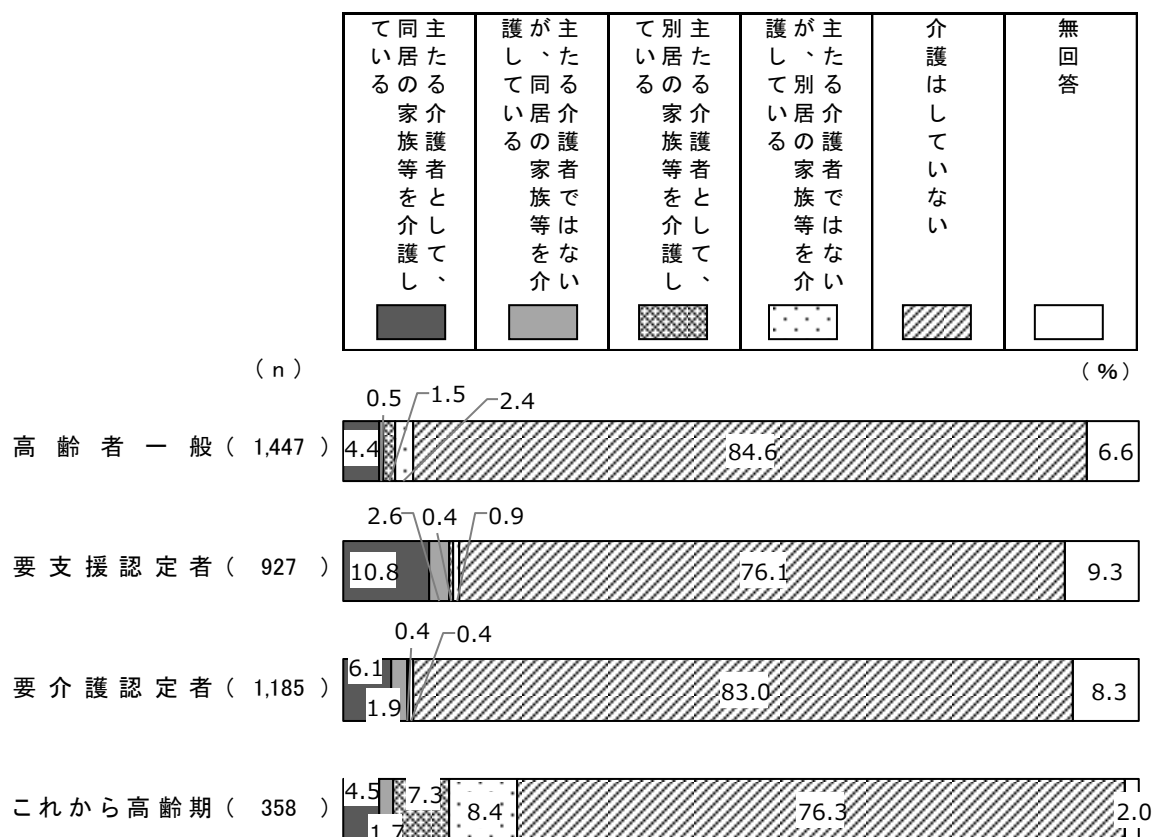
○これから高齢期では、「配偶者」が3割超となっている。



③ 介護の有無

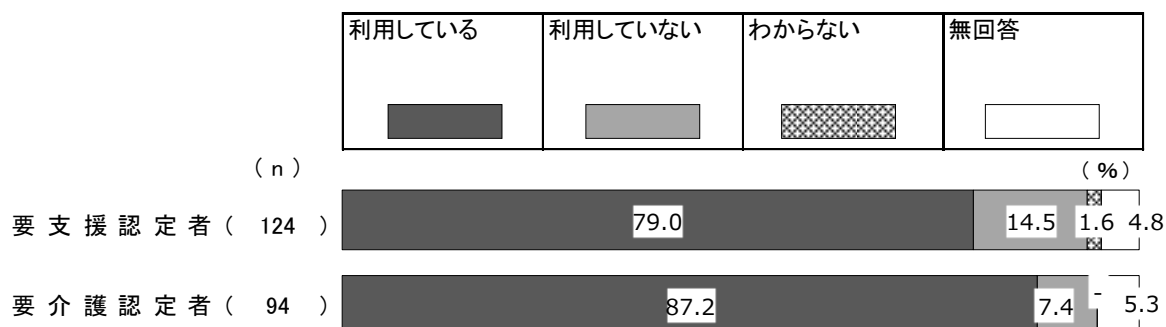
○いずれの調査でも「介護はしていない」が最も高く、7割半ばから8割半ばとなっている。

■介護の有無



○同居の家族等を介護していると回答した人で、介護保険サービスを「利用している」のは、要支援認定者で約8割、要介護認定者で9割近くとなっている。

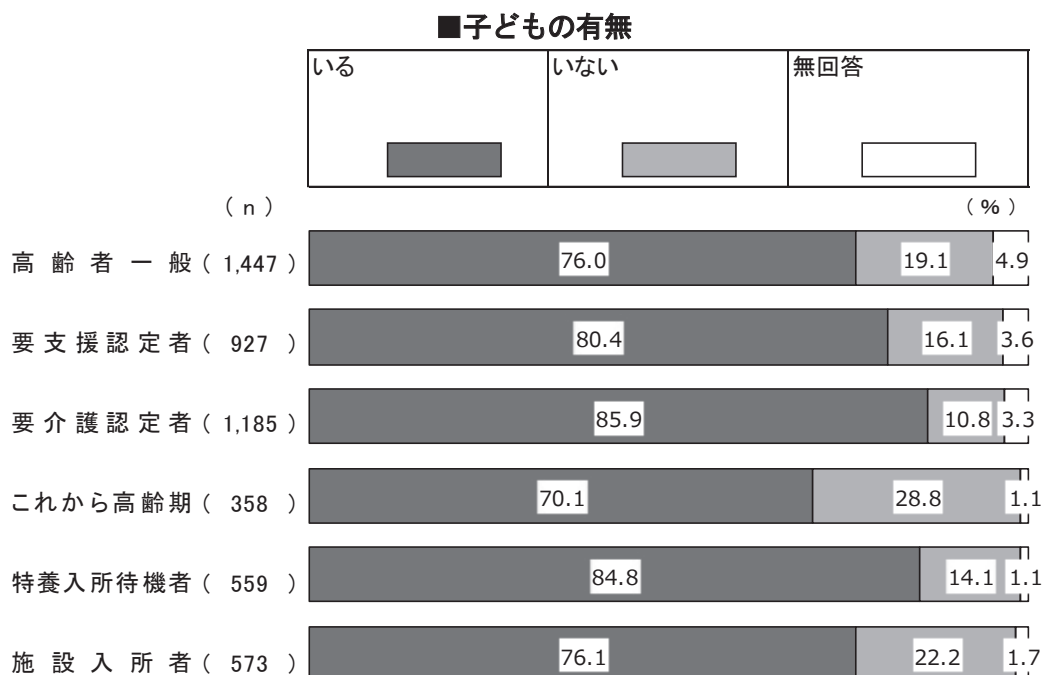
■介護保険サービスの利用状況



④ 子どもの有無

○子どもが「いる」と回答したのは、高齢者一般、施設入所者では7割半ば、要支援認定者では約8割、要介護認定者および特養入所待機者では8割半ばとなっている。

○これから高齢期は、子どもは「いない」が3割近くとなっている。



【高齢者一般】 【要支援・要介護認定者】

○年代別にみると、高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者ともに『前期高齢者』は子どもが「いない」が2割半ばから3割超で、『後期高齢者』と比べて高い。

■子どもの有無

<高齢者一般：年代別>

	n	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
高齢者一般	1,447	76.0	19.1	4.9
前期高齢者(65-74歳)	583	73.1	26.6	0.3
後期高齢者(75歳以上)	786	83.7	15.0	1.3

<要支援・要介護認定者：年代別>

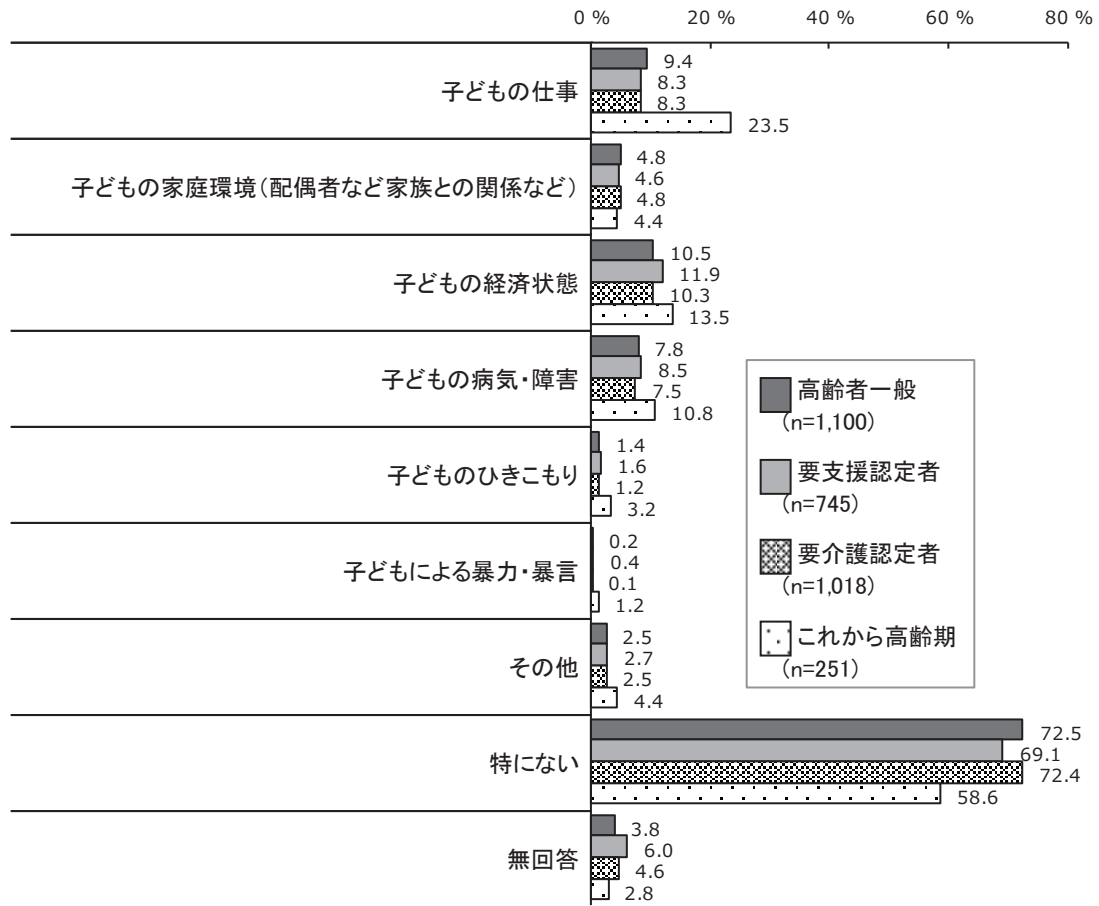
	n	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
要支援認定者	927	80.4	16.1	3.6
前期高齢者(65-74歳)	92	66.3	33.7	-
後期高齢者(75歳以上)	797	82.9	14.7	2.4
要介護認定者	1,185	85.9	10.8	3.3
前期高齢者(65-74歳)	128	71.9	25.0	3.1
後期高齢者(75歳以上)	1,018	88.9	9.0	2.1

⑤ 子どもに関する心配事

○子どもが「いる」と回答した人の子どもに関する心配事は、いずれの調査でも「特にない」が最も高く、6割近くから7割超となっている。

○心配事としては、いずれの調査でも「子どもの経済状態」「子どもの仕事」「子どもの病気・障害」が上位に挙がっている。これから高齢期では、「子どもの仕事」が2割超と他の調査と比べて高い。

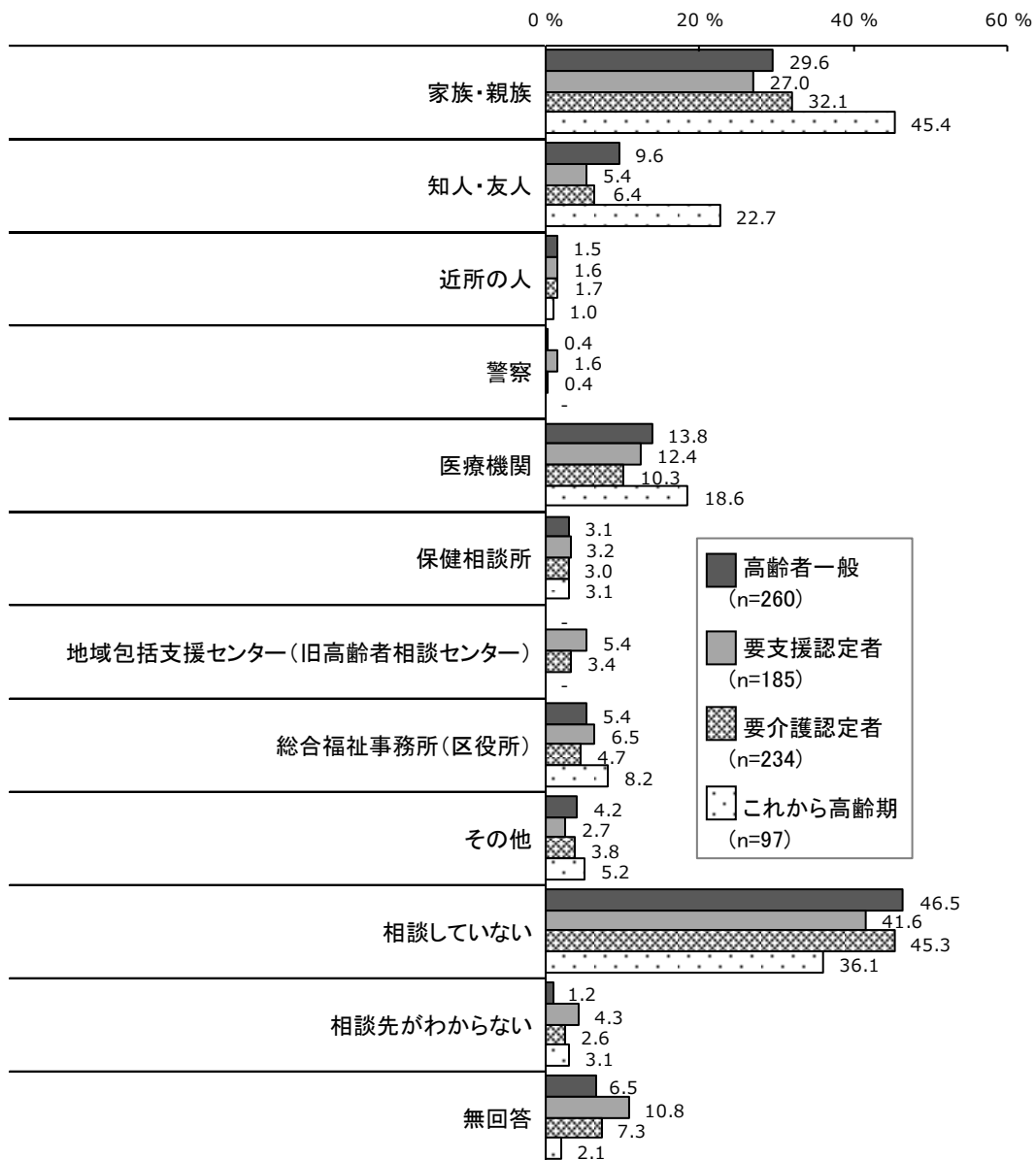
■子どもに関する心配事（複数回答）



⑥ 子どもに関する心配事の相談状況

- 何らかの子どもに関する心配事があると回答した人の相談状況は、高齢者一般では「相談していない」が46.5%となっている。相談している人のなかでは「家族・親族」が最も高く29.6%、「医療機関」(13.8%)、「知人・友人」(9.6%)となっている。
- 要支援認定者では、「相談していない」が41.6%となっている。相談している人のなかでは「家族・親族」が最も高く27.0%、「医療機関」(12.4%)となっている。
- 要介護認定者では、「相談していない」が45.3%となっている。相談している人のなかでは「家族・親族」が最も高く32.1%、「医療機関」(10.3%)となっている。
- これから高齢期では、「相談していない」が36.1%となっている。相談している人のなかでは「家族・親族」が最も高く45.4%、「知人・友人」(22.7%)、「医療機関」(18.6%)となっている。

■子どもに関する心配事の相談状況（複数回答）



⑦ ひきこもりの子どもの年齢

○子どもに関する心配事として「子どものひきこもり」と回答した人（高齢者一般で15人、要支援認定者、要介護認定者でそれぞれ12人、これから高齢期で8人）に、ひきこもりの子どもの年齢を聞いた。

■ひきこもりの子どもの年齢

	n	(件)						
		30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
高齢者一般	15	1	4	5	5	0	0	0
要支援認定者	12	1	0	3	7	1	0	0
要介護認定者	12	0	1	5	4	0	0	2
これから高齢期	8	4	4	0	0	0	0	0

⑧ ひきこもりの期間

○子どもに関する心配事として「子どものひきこもり」と回答した人に、ひきこもりの期間を聞いた。

■ひきこもりの期間

	n	(件)						
		6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答
高齢者一般	15	0	0	0	4	4	7	0
要支援認定者	12	0	0	2	0	2	8	0
要介護認定者	12	2	0	2	1	2	4	1
これから高齢期	8	1	0	2	1	3	1	0

⑨ ひきこもりになったきっかけ

○子どもに関する心配事として「子どものひきこもり」と回答した人に、ひきこもりになったきっかけを聞いた。

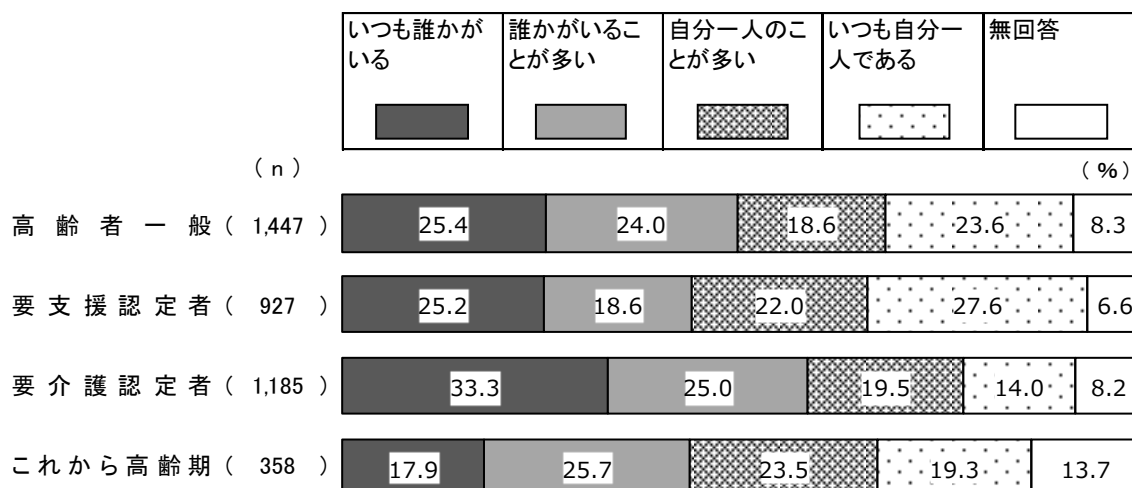
■ひきこもりになったきっかけ（複数回答）

	n	(件)									
		登校（小学生～大学生等時の）不	就職できなかったこと	失業・退職したこと	家族等の介護のために離職したこと	健康上の問題	家族間の問題	事故・犯罪被害	その他	無回答	
高齢者一般	15	3	2	5	1	5	0	0	5	0	
要支援認定者	12	3	1	5	0	6	1	1	1	0	
要介護認定者	12	4	2	3	1	4	0	0	2	0	
これから高齢期	8	3	1	3	0	0	0	0	1	0	

⑩ 日中独居の状況

- 高齢者一般では、「いつも自分一人である」(23.6%)と「自分一人のことが多い」(18.6%)を合わせた“日中独居”は4割超となっている。
- 要支援認定者では、“日中独居”は5割近くとなっている。
- 要介護認定者では、「いつも誰かがいる」が33.3%で最も高い。“日中独居”は3割超であった。
- これから高齢期では、“日中独居”は4割超となっている。

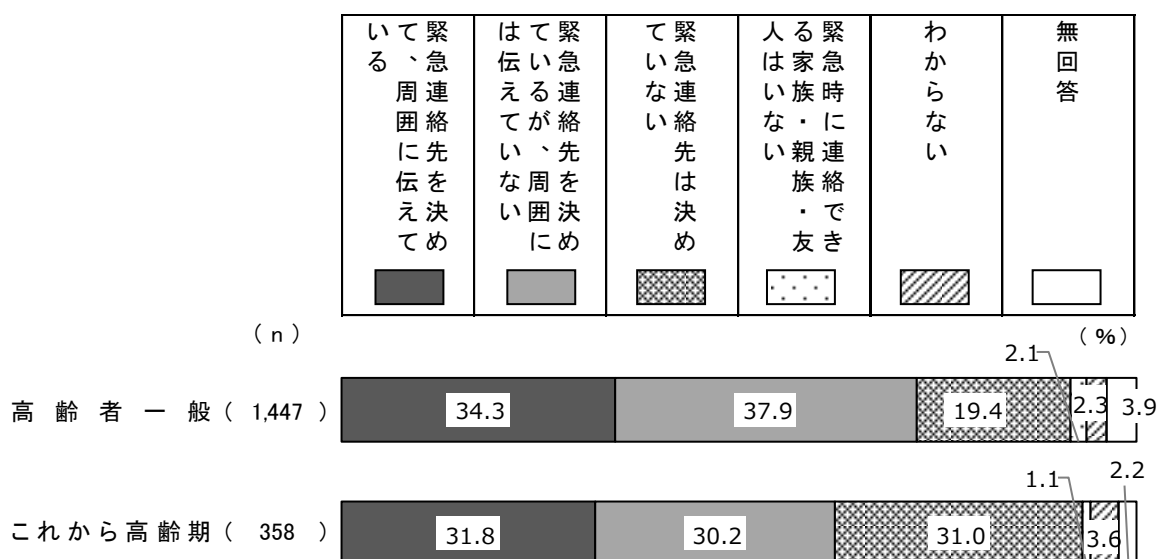
■日中独居の状況



⑪ 緊急連絡先の有無

- 高齢者一般では、「緊急連絡先を決めて、周囲に伝えている」が34.3%、「緊急連絡先を決めているが、周囲には伝えていない」が37.9%となっている。「緊急連絡先は決めていない」は約2割となっている。
- これから高齢期では、「緊急連絡先を決めて、周囲に伝えている」が31.8%、「緊急連絡先を決めているが、周囲には伝えていない」が30.2%となっている。「緊急連絡先は決めていない」は3割超となっている。

■緊急連絡先の有無

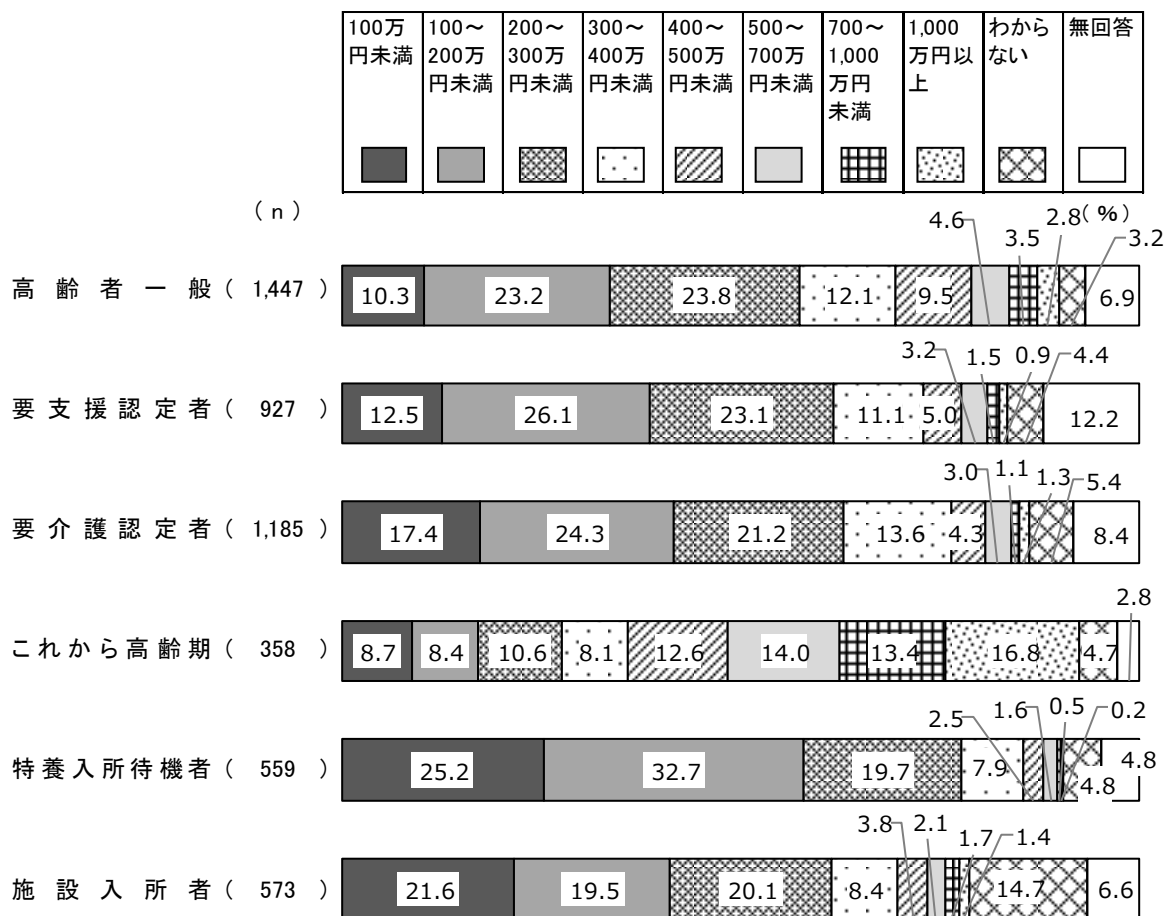


(6) 暮らし向き

① 世帯の年収

- 高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者では、“300万円未満”（「100万円未満」～「200～300万円未満」の合計）が6割近くから6割超となっている。
- これから高齢期では、“500万円以上”（「500～700万円未満」～「1,000万円以上」の合計）が4割半ばとなっている。
- 特養入所待機者では、「100万円未満」が25.2%、「100～200万円未満」が32.7%、「200～300万円未満」が19.7%で、“300万円未満”が8割近くとなっている。
- 施設入所者では、「100万円未満」が21.6%、「100～200万円未満」が19.5%、「200～300万円未満」が20.1%で、“300万円未満”が6割超となっている。

■世帯の年収

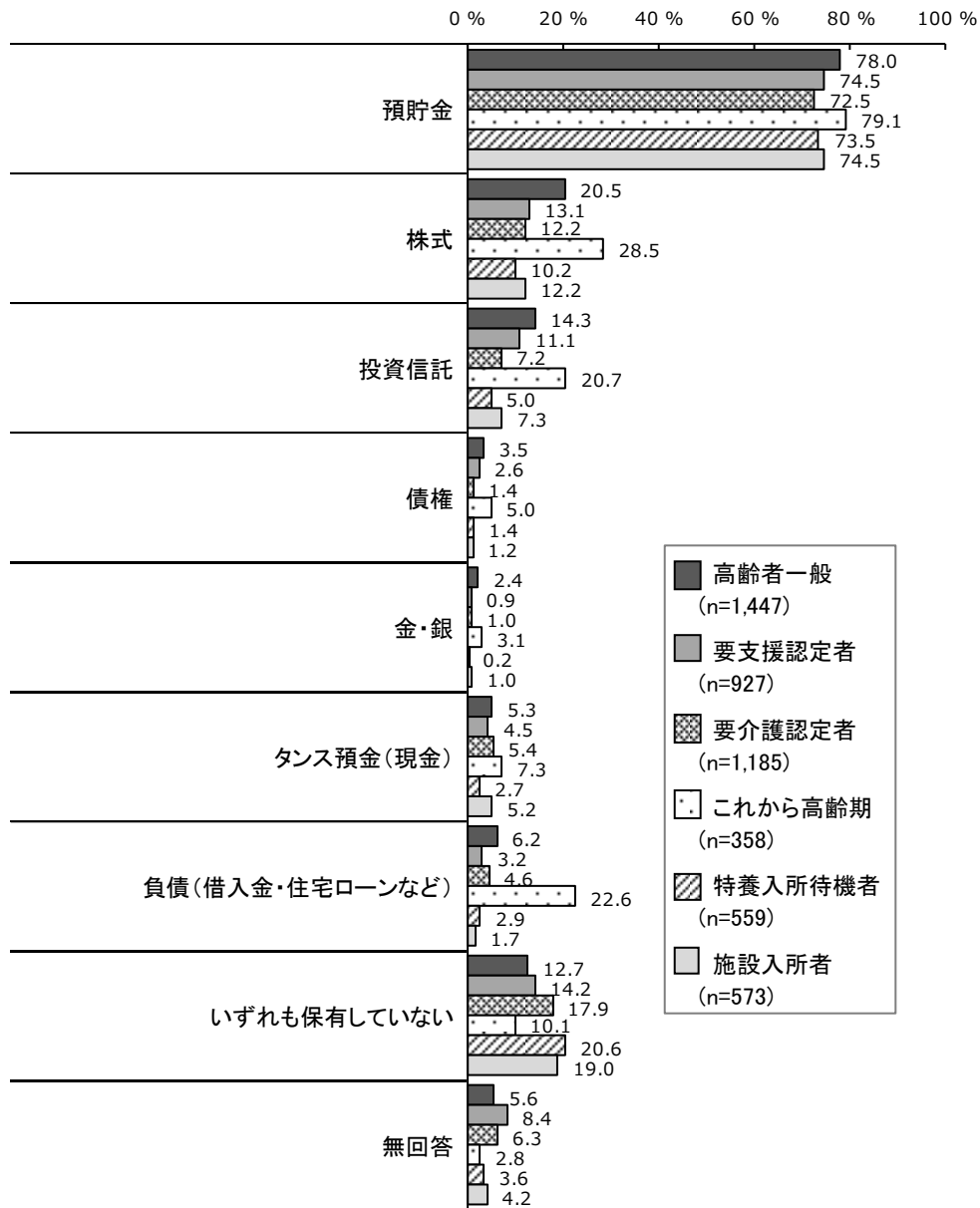


② 金融資産の保有状況

○いずれの対象者でも「預貯金」が最も高い（高齢者一般は78.0%、要支援認定者は74.5%、要介護認定者は72.5%、これから高齢期は79.1%、特養入所待機者は73.5%、施設入所者は74.5%）。

○特養入所待機者、施設入所者では、「いずれも保有していない」が約2割と続いている。

■金融資産の保有状況（複数回答）

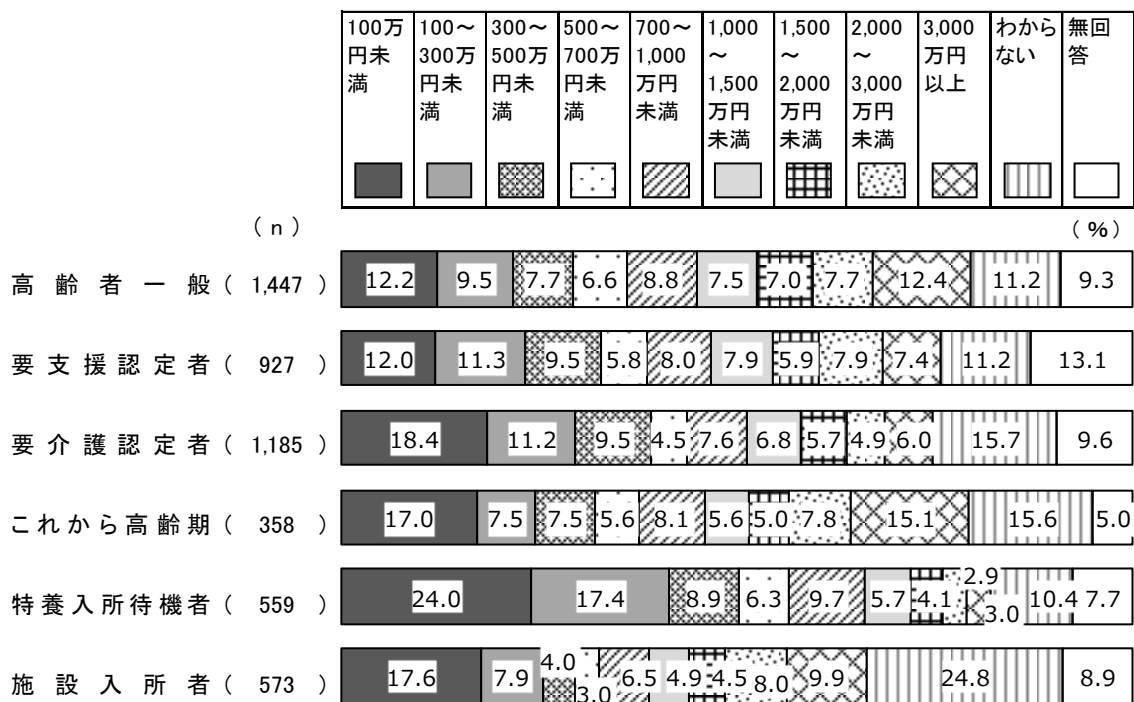


③ 世帯の預貯金

○預貯金額が「100万円未満」の世帯は、高齢者一般と要支援認定者で1割超、要介護認定者とこれから高齢期、施設入所者で2割近く、特養入所待機者で2割半ばとなっている。

○特養入所待機者では、“300万円未満”が4割超となっている。

■世帯の預貯金



④ 暮らし向きを感じ方

○「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた“苦しい”と回答した人は、高齢者一般が30.7%、要支援認定者が31.9%、要介護認定者が35.1%、これから高齢期が37.7%、特養入所待機者が53.8%、施設入所者が30.7%となっている。

■暮らし向きを感じ方

